

コロナウイルスの感染が世界で拡大する中、一次診療を担う弊院に何ができるか考え、たどり着いたのがオンライン診療です。 弊院はオンラインで、患者様が新型コロナウイルスの検査を行う前に、どの程度症状にリスクがあるか、スマートフォンやPCなどのビデオカメラと音声を基に診察致します。

症状次第で陽性反応でも自己隔離

新型コロナウイルスの検査を行い陽性が出てもご症状が軽ければ特定の期間、ご自宅等で自己隔離、療養し、対症療法を行うこととなります。状況や担当医の判断にもよりますが、陽性が出た場合でも、治療薬がないことや入院施設が不足するため、自己隔離との判断になります。陰性が出たとしても潜在的な懸念から、自己隔離となる可能性も否定できません。

そこで弊院ではコロナウイルス感染の疑いや症状があっても、検査をご案内する前に診察し、ご症状が軽い場合は対症療法と自宅での療養をお勧めし、重症化リスクが高い患者様に、新型コロナウイルスの検査に関するご案内を行っています。

大事なのは自分の症状がどの程度か把握すること

現在NYでは、想像を超える数の方々がコロナウイルスの検査を受け、治療を行っています。そのような中、ご症状が軽い状態でも、まず新型コロナウイルスの検査を希望する多くの問い合わせが寄せられています。しかし、あまりに早い感染拡大により、検査・治療双方に不可欠なPPE(防護服、グローブ、マスク)が不足し、医療資源が追い付かない「医療崩壊」の危機が迫っています。

ご症状がより悪化している患者様を優先して治療を行うためにも、コロナウイルスの検査をご希望頂く前に、ご自身の症状がどの程度のものかまずその評価をしませんか?

まずはご相談下さい

熱やせきなど、気になるご症状がございましたらまず、弊院のような一次診療を担うプライマリケア医(内科、小児科、家庭医療科等)にご相談下さい。



Stop! covid-19

熱とせきが止まらない。

新型コロナの検査は検査状況により潜在的なリスクが伴います。

- ・外出による感染リスク・非常に混み合う医療機関を訪問するリスク
- ・医療資源不足による医療崩壊を助長するリスク



検査どうやって受けるんだろう...



\ 検査の前に、まず医師に相談をしませんか?

新型コロナウイルスの診察方法としてCDCやNY州保健局など各機関推奨

日本人医師や各専門家がオンラインで診察 新型コロナウイルスCovid-19の感染リスク評価

スマートフォンなどでご自宅で診察致します。お薬もご自宅まで配送可能な薬局もご案内可能。 類似する症状のインフルエンザ等、新型コロナ以外の疾患がないか、ご自宅に検査キットを配送し検査を行います。

症状が重い・入院する必要性が高い

必要に応じてNY市保健局など 地元保険局のに相談

新型コロナ検査対応医療機関をご案内

新型コロナウイルス検査

<陽性>呼吸器障害などの症状

入院治療

<陰性>症状が発症したことから 潜伏の可能性否定できないと 判断される可能性有

<陽性入院不要> 自宅で隔離・療養

ご症状が軽いと判断

検査で陽性が出てもその後の 治療は大きく変わらないため、 状況により検査を行いません。

ご自宅で隔離中 も定期的にサポー ト致します。

ご自宅などで自己隔離・治療

現在、大部分の感染患者様はご自宅での療養で 回復しています。お薬などの対症療法(ご症状を和 らげる治療)を行いご症状を軽減。

お薬はご自宅に配送可能な薬局をご紹介。感染リ スクを抑えます。

症状が軽ければ、陽性でも陰性でも その後の治療法に大きな変化は現状ありません。 重篤患者・高齢者などの高リスク患者様を除き、今重要なのは、 御自身の症状がどの程度のものか把握することが重要です。

感染リスク・拡散リスクを防ぐためにも、命の危険が迫る患者がまず十分な医療を受けるためにも

気になるご症状はまず弊院などの医師にご相談下さい。

ご注意:呼吸困難、胸の強い痛みなどの症状、緊急の場合は911又はお近くのERにお問い合わせ下さい。





2020年4月のスケジュール 月~金:午前9時~ 午後5時 午前10時~

212-365-5066

inquiry@jmedical.com

新型コロナとNY都市圏の状況(Q&A 3月30日時点) **Stop! COVID-19**

コロナウイルスに関するお問い合わせを頂いておりますので、Q&A形 式で以下記載致します。

Q. Jmedicalではコロナウイルスの検査を実施してい ますか?

A. 弊院では院内感染防止などを理由に、コロナウイルスの検査は 実施しておりません。疑いがある患者様にはまず医師が診察を行い、 検査対象基準と照らし合わせ、必要に応じてニューヨーク市保険 衛生局を通し、コロナウイルス検査機関をご案内いたします。

O. 新型コロナウイルス感染の症状はどのようなもので すか?

A. CDCは現在、以下のように定めております。

- 感染後2-14日後に発症。
- 熱(38度以上)

似た症状にインフルエンザがありますが、のインフルエンザ シーズンは冬。通常3月-4月にピークを越え減少します。

せき・息苦しさ・のどの痛み

花粉が飛ぶシーズンが始まり、アレルギー性鼻炎などから くしゃみをする方が増えておりますが、CDCの基準ではせ きや息苦しさが対象となっております。

Q. コロナウイルスの検査はどのような方が対象です か?

A. ニューヨーク州では、現在ドライブスルーによる検査が実施される など検査可能な数を拡大、3月25日には1日18,560人の検査 (内6,448人陽性)を行いまいた。それでも医療体制が追い付 いていない状況です。

現在、ニューヨーク都市圏(ニューヨーク州、ニュージャージー州、コ ネチカット州)では感染患者が拡大しており、入院可能なベットや 呼吸器などの医療機器が不足。臨時の病院施設や米軍の病院 船を配置するなどの措置を取っている状況のため、検査を受ける患 者様の基準が厳しくなっております。よって、コロナウイルス感染の疑 いがあっても、重篤な症状がない限り、検査を受けることができませ ん。尚、検査が可能かどうかの判断は、地元の保健衛生局が示す 指針に沿って地元衛生局にまず相談して行うものであり、各地域 によって対応は異なります。

J•MEDICAL ジャパニーズメディカルケア

ニューヨーク州の検査基準

ニューヨーク州Department of healthのwebサイトによると、コ ロナウイルスの検査可否に関する指針は、以下の基準に基づいて 医師が判断した場合と記載しております(3月29日現在)。

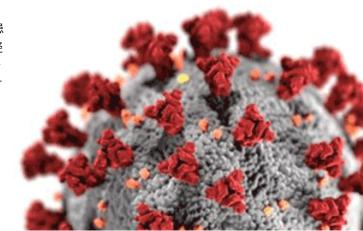
- 陽性患者と濃厚接触
 - 同じ教室、オフィスに在籍、集会に参加など。
- CDCが定めるLevel2-Level3*の国へ渡航
 - 注釈:但し、Level3は中国、イラン、欧州、英国及 びアイルランドとなりますが、Level2は現時点で全世 界となっております(3月29日時点)
- 予防又は隔離を必要とされ、新型コロナウイルスの症状がある。
- 医師が州又は地元保険局(NYCの場合はNYC衛生局 New York City Department of Health and Mental Hygiene) との協議の結果、必要だと判断した場合。

ニューヨーク市の検査基準

ニューヨーク市衛生局では、3月20日に配布された医療従事者向 けの通知で以下のように記載しております(一部抜粋)。

- 救急救命十、医療従事者を含め、無症状の患者は検査を行 わない。
- 入院を必要としてない患者の検査は直ちに停止すること。
- 救急部門 (Emergency Department) は重症患者を優 先、軽症者は自宅待機を強く推奨。

上記のように、特にニューヨーク市は医療物資の不足もあり厳格に 明記しておりますが、弊院では患者様の症状がどの程度なのか等 を確認するためのスクリーニングを行っております。呼吸困難など緊 急の場合は911にお電話頂く必要がございますが、気になるご症 状等がございましたら、お気軽に医師にご相談下さい。



新型コロナとNY都市圏の状況(Q&A 3月30日時点)

Stop! covid-19

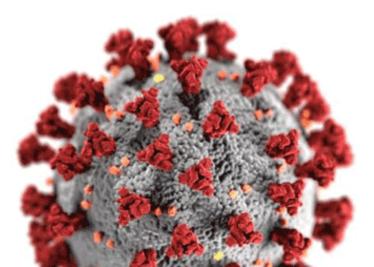
Q.熱やせきが出た時、どうすれば良いですか?

A. 医師にご相談下さい。コロナ感染の疑いがありますが、コロナウイルスに感染し、検査の結果陽性反応が出た患者様でも、軽い症状の患者様についてはご自宅待機となり、現在は新型コロナウイルスの治療薬がないため、対症療法(それぞれのご症状を抑えるための薬による治療)が中心となります。よって、コロナウイルスの検査を実施しても実施しなくてもその後の対応に大きな変化はないため、危篤患者様を優先するため、ご症状が軽い場合は新型コロナウイルス検査は受けられない状況です。但し、コロナ検査が受けられない理由でそのまま放置した場合、症状が悪化する可能性がございますので、医師にご相談頂くことをお勧め致します。

Q.オンライン診察を受けても、検査機関を紹介するだけなのではないですか?

ニューヨーク州保健局(Department of Health)のガイドラインにもございますが、コロナウイルスの検査可否は、感染防止のためまずオンラインによる診察で検査を受けるべきか医師が判断することが推奨されております。テレビ画面を通じて患者様のご症状を確認し、症状の重さを確認した後、自宅待機で対症療法を行うか、コロナウイルスの検査機関を手配するかなど判断致します。感染者が急増する中、この判断が極めて重要となっております。また、ニューヨーク市もコロナウイルスの検査を奨励、促進、宣伝を行ってはならないというガイドラインを出しております。

加えて、現在各地で公設されているコロナウイルスの検査は、事前 予約と医師の指示を必要としている上、混在しておりますので、検 査機関に直接出向いても検査を受けられない可能性がございます。 御自身でコロナ感染の疑いを持たれた際、自宅療養か、検査が必 要かまず医師にご相談下さい。



Q.新型コロナの薬があるとTVで見たのですが 現在治療薬はありますか?

A.現在新薬の認可機関であるFDA(アメリカ食品医薬品局)が 承認した、新型コロナウイルス(COVID-19)の予防又は治療の 薬はありません。3月29日に配布されたニューヨーク市からの医療 従事者向け通知に、テレビで観た情報を基にCOVID-19の感染 を防ぐ目的で薬品を購入、服用し、死亡した事件があったと記載が ありました。世界最大規模の米感染症対策センターCDCの情報 などを参照し、最新の情報を収集することをお勧め致します

Q.コロナウイルスに感染していない証明書は発行可能ですか?

新型コロナウイルスは全世界的にまだはっきり解明されていない部分が多いため、弊院ではそのような対応を行っておりません。

Q. ニューヨークでは新型コロナウイルスの検査を無料で実施していると聞きました。 貴院でも無料なのでしょうか?

ニューヨーク州Department of healthのWebサイトには、
Testing is free for all eligible New Yorkers as ordered by a health care provider. (適格なニューヨーク州民で、医師など(Healthcare Provider)が検査をオーダーした場合、新型コロナウイルスの検査を無料で受診ができる)と書かれおります。

前述の通り弊院では院内感染防止等を考慮し、院内で検査を実施しておりません。検査はニューヨーク市が運営する医療機関やニューヨーク州が運営するドライブスルー検査機関での受診となり、ご予約が必要となりますが、この検査が無料で受けられるようです。

但し、上記の通り検査を受診するためには医師のオーダーが必要とされています。 弊院では新型コロナウイルスの検査基準を満たしているかなどの診察、又症状が軽い患者様に対してご症状に合わせてお薬を処方するなどの対応を行っております。 また、ご症状に応じてニューヨーク市衛生局の医療機関専用番号に連絡し、その後の対応について確認致しておりますが、本件に関するオンライン診察の費用はかかって参りますので、恐れ入りますが何卒よろしくお願い申し上げます。



無料WEBセミナー

New Yorkの新型コロナ現状 メンタルヘルスャオンライン診察の役割

2020年4月10日 3:00 pm - 4:30 pm

現在NYで何が起きているのか NY都市封鎖中におけるメンタルヘルスやオンライン診察の役割

熱やせきがとまらない・・・新型コロナに感染したと思ったら? 〜新型コロナの予防や対処法〜

丹波靖子, MSN, RN, FNP-BC, CWS

新型コロナウイルス流行に伴うメンタルヘルス 心理カウンセラー 表西恵 Ph.D Psycologist

NY州/NY市の現状やオンライン診察の概要 Manager 鳥居岳洋



丹波靖子

YASUKO TAMBA FNP-BC, MSN, RN, FNP, CWS

Japanese Medical Care Manhattan院 Westchester院 Nurse Practitioner

専門: プライマリ・ケア (一般診療科/家庭医学科/内科/小児科/婦人科) 創傷ケア

所属する学会: Japan Academy of Diabetes Education and Nursing、Pennsylvania State Nurses Association他プロフィール: テンプル大学看護学部学士課程卒業。トーマス・ジェファーソン大学看護学部修士課程卒業。現在ニューヨーク州、ペンシルベニア州、ニュージャージー州認定Nurse Practitioner



Megumi Omonishi PhD Psychologist

Japanese Medical Care Manhattan院 Westchester院 Psychologist(心理学博士)



専門科 サイコロジスト・カウンセリング心理学科(大人、子供、カップル、家族の心理セラピー)

所属する学会 米国心理学会

プロフィール 関西大学卒業。ジョージア州立大学カウンセリング心理 学科博士号取得。テネシー大学ヘルスサイエンスセンターにてイン ターンシップ終了。

出版物:「アメリカ人は気軽に精神科医に行く」ワニブックス/PLUS。



Stop! covid-19